

平成 29 年度 第 2 回「在職者のための定着支援研修会」が終了しました。

9月5日（火）15：00～17：00 の日程で開催し、「距離感を知ろう ～同僚・友人・異性との付き合い方～」というテーマについて理解を深めました。日々、人と関わり生活することや働くことにおいて適切な距離感を保つことは大切なことです。距離感を意識しないで過ごすことで誤解を生んでしまう場合もあると思います。研修を通じて、上司や同僚との関わり方について学んで頂きたいと思い研修会を開催しました。この研修は企業で働く障がいのある方を対象とし、昨年度から企業の人材育成とタイアップしながら進めています。



今回は、22社31名の方にご参加いただきました。研修では、人との「物理的な距離感」と、関係性などから考える「心の距離感」について皆さんと一緒に考えました。

まず、参加者の方々に隣の人とペアになってもらい実際に相手との物理的な距離を測ってもらいました。自分にとっての居心地の良い距離を探してもらうことで人により「快・不快」の感じ方はそれぞれであることを確認しました。

ロールプレイでは、悪気はなくても相手を傷つけてしまう言葉や、世間話しや内緒話しをするときにはTPO（時・場所・場合）をわきまなくてはならないことを皆さんで共有しました。

終了後に書いてもらう報告書では「実際に距離を測ることで自身のパーソナルスペースについて確認することができた」「自分が普段気にしていない部分もあったので勉強になった」「同僚や異性に話しをする時の距離をもう一度確認したいと思う」という感想をいただきました。



人には「適切な距離感」というものがあります。他人にはふれられたくないことや、どこまでなら足を踏み入れられても良いかは話す相手によっても違います。そのため、人によつての「適切な距離感」を覚えるのはたくさんの経験をつまないと難しいことだと思います。会社の同僚や友人と長く付き合っていくためにも、心の距離の縮め方を間違えないように意識することが大切です。改めて人との距離感を見直すことができたのではないのでしょうか。

また前回と同様に、ご希望いただいた企業担当者の方や高等支援学校の先生にもご参加頂きました。この研修会を通し、普段働いている姿とは違う様子を見ってもらうことで新たな一面を発見してもらえたり、より本人を知ってもらえる機会として、職場での人材育成の一助として活用いただいております。企業の皆さんからご意見をいただくことで外部研修に参加する意義を深めていきたいと考えております。

今後も人材育成に関する研修や余暇の活動を企画し、障がいのある方や一緒に働く方たちがお互いに気持ち良く生活することや働くことができるよう、応援していきます。